



〒104-0044
東京都中央区明石町10-1
聖路加国際大学礼拝堂
TEL 5550-2416
TEL 5550-7043
FAX 5550-7070
E-mail: chapel@luke.ac.jp
URL: <http://nssk.org/tokyo/church/luke>



聖書に学ぶ会

10月からリモート (Zoom) で行っています。
第1・第3木曜日 午前10時 新約聖書 (ケビン司祭)
第2・第4火曜日 午後5時30分 旧約聖書 (関司祭)
ご関心のある方は、チャペルにお問い合わせください。

巻頭メッセージ

自分の弱さを知って、
聞こえてくる

礼拝案内

月・火・木・金曜日

■午前8時30分 朝の礼拝 トイスラーホール

水曜日

■午前8時30分 聖餐式 トイスラーホール

※第2水曜、第3火曜、第3水曜の礼拝は午前8時45分～

日曜日

感染予防対策のため、礼拝時間を変更しています

- 午前7時 聖餐式 トイスラーホール
- 午前9時30分 聖餐式・説教 臨時チャペル
- 午前11時 聖餐式・説教 臨時チャペル

巻頭メッセージ

自分の弱さを知って、聞こえてくる

司祭 シモン・ペテロ 上田憲明

イエスさまのたとえ話を読んでみると、イエスさまが誰かからのお話を聞いている姿が思い浮かんでくる。からし種、イースト菌、

なくした一枚のコイン、迷子の羊、借金で困っている人、裁判をしてもらうように訴えているのにまともに取り上げてもらえない人。一つ一つのものが、一人一人の人が物語を語っている。そこに耳を傾けているイエスさまがいる。様々なイエスさまのたとえ話には、そういうイエスさまの耳を澄ましている姿が見え隠れしている。

大切なことは、何を語るかではなく何を聴くか。どれだけのことを聴けたかで、語ることは生まれてくる。どれだけ聴けるかは、どれだけ、その一つ一つのこと、一人一人の物語に深く入っているかに懸かっている。それは冒険なのである。

多くの人は（それは自分も含めてなのだが）、意識的に、また無意識的にその冒険を適当に切り上

げてしまう。自分の身を守るために。自分の弱さに十分に向き合えないために。

自分を危険に晒しながら奥深くまで聴き続ける時に、イエスさまのように愛することが始めてできるようになるのではないだろうか？「わたしが愛したように、あなたも互いに愛し合いなさい。」（ヨハネによる福音書13:12）というのがイエスさまの命令である。

イエスさまは、ユダの裏切り、ペテロの離反、フィリポの不信などを予感し、そしてご自分自身も、人からも神からも見放される十字架への恥と苦しみの道を辿るといふ弱さの極みに直面することを思いながらこのことを語られている。わたしたちも自分の弱さを充分に知って初めて、イエスさまのお言葉に応答し始めることができるのではないかと思う。